

令和4年度 公益財団法人山形市文化振興事業団事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルスのパンデミックが始まって3年となり、10月には入国者数の上限が撤廃されるなどの水際対策が緩和されると共に、観光需要を後押しする支援制度が実施されるなど、旅行やイベント等の活動が新型コロナウイルスの流行以前の行動様式に戻る傾向が見え始めた年であった。

山寺芭蕉記念館では、特別展「江戸絵画の美」を開催して、江戸時代の絵師・文人・俳人などの手による様々な絵画を紹介し、新出資料2点、指定文化財3点を公開した。また、画家・版画家の坂田燦氏から「おくのほそ道」版画全63点が令和3年に寄贈されたことを記念する特別展「坂田燦の『おくのほそ道』版画展」を開催した。正岡子規没後120年を記念した企画展「子規からの近現代俳句」では、近代俳句勃興期における有名俳人や現代俳句の魅力を紹介した。また、普及啓発事業の、第65回全国俳句山寺大会は紙上大会とし、新型コロナウイルス感染対策のため、会しての開催は中止した。一方、第53回芭蕉忌俳句大会では事前投句とその発表・表彰のみを行い、文化セミナーは「東北歴史探訪」をテーマに、4年ぶりに対面によって開催して3回の講座を行った。

最上義光歴史館では、特設展示「最上家ゆかりの古文書」を開催し、前年度に山形市指定有形文化財となった最上家ゆかりの古文書3件4通と、すでに文化財指定の古文書9通、更に新たに発見された「最上義光宛行状」を一堂に公開し、最上家ゆかりの人々の文書の流麗な筆跡等を鑑賞する機会とした。特設展示「出土した陶磁器」では、山形県内の城郭や集落遺跡の発掘事業によって出土した陶磁器を公開し、近世の発掘成果の一端を紹介した。また、山形大学の文化庁博物館支援事業の文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM 事業「地域の記憶『共創』アーカイブ事業」へ参加し、収蔵品をデジタル化して共有する仕組みの作成を行った。

こうした取り組みの結果、山寺芭蕉記念館の入館者数は前年度対比37.6%の増加、施設全体の利用者数は41.9%の増加、茶席事業利用者数は171.5%の増加であった。

最上義光歴史館の入館者数は、令和3年度に10月16日から3月末日まで臨時休館したこともあり、前年度対比185.4%の増加となった。

山寺芭蕉記念館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

①企画展「お雛さまの美 ー山形に伝わる《桃の節句》の彩りー」

雛人形を展示し、その歴史を紹介すると共に、その工芸の美を鑑賞する機会とした。

○開催期間 4月1日(金)から4月11日(月)(延べ日数11日)

○入館者数 112名：1日平均約10名

(前年度は企画展「山寺と紅花 ーお雛さまと節句の飾りー」開催、前年同期12日間で入館者数111名)

○総入館者数(2/18~4/11 延べ日数42日)667名：1日平均約16名

(前年度は42日間で入館者数667名)

②常設展

芭蕉と山寺、芭蕉の生涯、芭蕉の周辺と蕉門等のテーマで収蔵品の展示を行った。

○開催期間 4月15日(金)から5月30日(月)(延べ日数46日)

○入館者数 1,904名：1日平均約41名

(前年度は常設展開催、前年同期32日間で入館者数406名)

③特別展「坂田^{あきら}燦の『おくのほそ道』版画展」

坂田燦氏が1990年(平成2年)から30年かけて制作した「奥の細道」版画全63点の山形市への寄贈を記念して公開する。333年前に芭蕉が見た情景と心情をイメージ化した版画によって、芭蕉の「奥の細道」の旅を追体験すると共に、版画表現の魅力を鑑賞する機会とした。

○開催期間 6月3日(金)から7月19日(火)(延べ日数46日)

○入館者数 1,194名：1日平均約26名

(前年度は企画展「動物の表現に見る美」開催、前年同期54日間で入館者数896名)

○ギャラリートーク 6月3日(金) 画家・版画家 坂田 燦氏 参加者数40名

④企画展「今昔 妖怪・もののけ展 ー異界探訪 鬼退治伝説から呪術師までー」

妖怪は古来より様々な文学作品、美術作品に取り上げられ、松尾芭蕉も紀行文『おくのほそ道』の中で、妖怪「九尾の狐」の殺生石についてふれている。本展では、江戸初期から現代に至るまでの妖怪画や造形作品を展示し、妖怪が日本文化の中でどのように語り継がれ、表現されてきたのか探った。

○開催期間 7月23日(土)から8月30日(火)(延べ日数39日)

○入館者数 2,543名：1日平均約65名

(前年度は企画展「妖怪・もののけ物語」開催、前年同期60日間で入館者数2,441

名)

- ナイトミュージアム ・日時 8月11日(木)祝 午後5時から午後6時40分
・内容 「展示解説」当館学芸員 相原一士
「山形もののけ夜話」作家 黒木あるじ氏
・参加者数 48名
- きもだめし ・期間 企画展開催期間中(研修室等利用の無い日) 計35日間
・内容 参加者が研修室等を探検し、お札を持ってくる。参加者には缶バッジ進呈。
・参加者数 945名

⑤常設展

芭蕉と山寺、芭蕉の生涯、芭蕉の周辺と蕉門等のテーマで収蔵品の展示を行った。

○開催期間 9月2日(金)から10月3日(月)(延べ日数32日)

○入館者数 656名：1日平均約21名

(前年度は企画展「芭蕉と江戸時代」開催、前年同期60日間で入館者数2,738名)

⑥特別展「江戸絵画の美 —絵師から文人・俳人まで、その趣向と魅力—」

江戸時代の絵画を俳画や文人画、狩野派などの職業画家の作品を含めて紹介した。芭蕉の絵画や、蕉門俳人の絵画も展示し、芭蕉が影響を受けた江戸時代の美意識も探る展示とした。

○開催期間 10月7日(金)から11月23日(水)祝(延べ日数48日)

○入館者数 2,877名：1日平均約60名

(前年度は前述の企画展「芭蕉と江戸時代」開催、前年同期60日間で入館者数2,738名)

○ギャラリートーク 10月10日(月)祝 当館学芸員 相原一士 参加者数6名

⑦正岡子規没後120年記念

企画展「子規からの近現代俳句 —子規の俳句革新から現代俳句まで—」

正岡子規は、江戸俳諧に対し、句作における“写生”という客観的表現に達し、これにより日本派の俳句革新運動が興ることとなる。子規の活動は俳文学に新たな息吹きを与え、今日まで続く近現代俳句の基礎をつくり上げることとなった。本展では、正岡子規や、俳句革新運動の一翼を担った高浜虚子、河東碧梧桐をはじめ、近代俳句勃興期における有名俳人や現代俳句の魅力を紹介した。

○開催期間 11月26日(土)～2月6日(月)(延べ日数59日)

○入館者数 530名：1日平均約9名

(前年度は常設展開催、前年同期69日間で入館者数832名)

⑧企画展「お雛さまの美 ー山形に伝わる《桃の節句》の彩りー」

江戸時代の雛人形を中心に展示し、雛人形や桃の節句の歴史とその美術や日本文化の一端を紹介した。

○開催期間 2月10日(金)から3月31日(金)(延べ日数50日)

○入館者数 1,164名：1日平均約23名

(前年度は企画展「お雛さまの美 ー山形に伝わる《桃の節句》の彩りー」開催、前年同期42日間で入館者数555名)

○ギャラリートーク 2月19日(日) 当館学芸員 相原一士 参加者数14名

○総入館者数(2月10日～4月10日延べ日数60日)1,393名：1日平均約23名
(前年度は42日間で入館者数667名)

(2) 普及啓発事業

①第65回全国俳句山寺大会

俳句の普及と振興をはかるため、山寺文化保存会と共催し、名勝山寺の地で芭蕉が訪れた時期に俳句大会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、俳句を募集し、表彰する紙上大会とした。

○日時 7月10日(日)

○選者 細谷唳々氏(「一葦」同人)、増成栗人氏(「鴻」主宰)、
神野紗希氏(現代俳句協会副幹事長)、阿部月山子氏(「春耕」同人)、
鈴木正子氏(「初蝶」同人)、伊藤寛氏(「古志」同人)、
牧静氏(「苾」同人)

○事前投句数 1,459句(前年度1,630句)

②ボランティアガイドブラッシュアップ講座

「奥の細道」のボランティアガイドを育成する講座を、奥の細道マイスターの会、山形大学と連携して開催した。今回はブラッシュアップ講座として、山寺芭蕉記念館研修室1の会場及びオンライン等でも実施した。

○日時・内容・参加者

・日時 7月30日(土)

・内容 「江戸時代以前に山寺を描いた絵がないのはなぜか」

山形大学学術研究院准教授 佐藤琴氏

「元禄前後の日本 ー文化、生活、旅」

山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

「妖怪入門 ー『奥の細道』から民俗学までー」

当館学芸員 相原一士

「精読『奥の細道』宮城県・山形県部分 1」

山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

・参加者数 25名(内 山寺芭蕉記念館会場17名、リモート7名、画像配信1名)

- ・日時 8月20日(土)
- ・内容 「精読『奥の細道』宮城県・山形県部分 2・3・4」
山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
「軸物の取扱い方」 山形大学学術研究院准教授 佐藤 琴氏
- ・参加者数 25名(内 山寺芭蕉記念館会場13名、リモート8名、画像配信4名)

③「野外映画上映会」

山形市、山形市創造都市推進協議会、(NPO)山形国際ドキュメンタリー映画祭、当事業団の主催により山寺芭蕉記念館を会場に野外上映会を予定していたが、雨天により会場を山寺小中学校体育館に変更して実施した。

- 日 時 8月27日(土)
- 上映映画 「羅小黑戦記(ロシャオヘイセンキ) ぼくが選ぶ未来」
- 参加者数 55名

④第14回山寺芭蕉記念館英語俳句大会

英語俳句を通して俳句の更なる交流促進、俳句文化の国際交流をはかるとともに、英語教育や文化、観光振興に寄与することを目的として実施した。

今年度は募集期間を7月1日から8月19日とした。

- 審査委員 飯島武久氏(国際日本文化研究会顧問・山形大学名誉教授)
大場 登氏(第14回山寺芭蕉記念館英語俳句大会実行委員会委員長)
万里小路 譲氏(詩人・評論家)
リサ ソマーズ氏(翻訳家・山形大学講師)
相馬 周一郎(公益財団法人山形市文化振興事業団理事長)
- 投句数 2,759句(前年度2,993句)
- 参加者数 2,049名(前年度2,364名)

⑤第53回芭蕉忌俳句大会

俳句の普及と振興をはかるため、山形県俳人協会と共催し、山寺の地で芭蕉を偲び句会を開催した。

今年度は諸般の事情を考慮して、事前投句の選評と表彰のみの大会とした。

- 日 時 10月23日(日)
- 選者 阿部 月山子氏(「春耕」同人)、鈴木 正子氏(「初蝶」同人)、
伊藤 寛氏(「古志」同人)、牧 静氏(「苾」同人)、
伊藤 ふみ氏(「馬酔木」同人)
- 投句数 486句(前年度568句)
- 参加者数 37名(前年度紙上大会のため参加者無し)

⑥第 29 回山寺芭蕉記念館文化セミナー

広い視野で日本文化と歴史を見つめる講座を開設し、市民文化の向上をはかると共に新たな視点を提示した。複数回連続講座。

今回は「東北歴史探訪―「みちのく」の文化、その歴史と深層―」と題して行った。昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止とした。

○日時・演題・講師・参加者

第 1 回 10 月 29 日(土) 「義経の旅、芭蕉の旅」

山本陽史氏(山形大学学術研究院教授) 参加者数 48 名

第 2 回 11 月 6 日(日) 「『おくのほそ道』にみられる芭蕉の自然観」

蟹澤聰史氏(東北大学名誉教授) 参加者数 43 名

第 3 回 11 月 12 日(土) 「立石寺開創の頃」

山口博之氏(東北学院大学東北文化研究所客員) 参加者数 37 名

⑦奥の細道マイスター養成講座

「奥の細道」について学ぶと同時に、山寺芭蕉記念館のボランティアガイドを行うにあたっての知識を得ることを目的とする講座を奥の細道マイスターの会と共に開催した。また、山寺芭蕉記念館のボランティアガイドを志す方のために「ガイド認定講座」も実施した。

「奥の細道教養講座」

○12 月 10 日(土)

・内容 「芭蕉はなぜみちのくの旅に出たのか」

山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

「奥の細道の魅力って何だろう」

山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

「中世山寺の信仰」

東北学院大学東北文化研究所客員 山口博之氏

「くずし字の読み方入門 (1)」

山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

・参加者数 一般 12 名 (内オンライン 5 名)

マイスターの会会員 19 名 (内オンライン 8 名) 計 31 名

○12 月 11 日(日)

・内容 「江戸時代の旅はどんなものだったのか」

山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

「俳句・奥の細道を世界に発信しよう」

山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

「くずし字の読み方入門 (2)」

山形大学学術研究院教授 山本陽史氏

「ガイドに向けてのアドバイス」 奥の細道マイスターの会会員

・参加者数 一般 12 名 (内オンライン 5 名)

マイスターの会会員 18 名 (内オンライン 7 名) 計 30 名

「ガイド認定講習」

○12月17日(土)

- ・内容 「俳諧と俳句はどう違うのか」 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
「資料の見方・取り扱い」 当館学芸員 相原一士
認定試験準備・個別指導 奥の細道マイスターの会会員、
当館学芸員 相原一士
認定試験準備・個別指導 奥の細道マイスターの会会員、
当館学芸員 相原一士
- ・参加者数 一般3名 マイスターの会会員7名 計10名

○12月18日(日)

- ・内容 「外国人を対象としたガイドのポイント」 全国通訳案内士 アーウィン香織氏
「芭蕉の教養」 山形大学学術研究院教授 山本陽史氏
認定試験準備・個別指導 奥の細道マイスターの会会員、当館学芸員 相原一士
山形大学学術研究院教授 山本陽史氏、
奥の細道マイスターの会会員、当館学芸員 相原一士
認定試験
結果発表・終了証書授与
- ・参加者数 一般3名 マイスターの会会員8名 計11名

⑧芭蕉を偲んで投句しよう(一般の部・小中学生の部)

俳句の普及をはかるため、館内に投句箱を設置し、投句選を行った。

- 投句数
 - ・一般の部 38句(前年度37句)
 - ・小中学生の部 14句(前年度11句)
- 選者
 - ・一般の部 伊藤寛氏(山形県俳人協会副会長)
 - ・小学生の部 武田菜美氏(山形県俳人協会常任幹事)

⑨ICTに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページやSNS(フェイスブック)を活用して様々な情報を発信した。事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の公開を行い、山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

○アクセス件数

<4月から3月までの延365日間のアクセス件数>

	令和4年度	令和3年度	前年度比
回数	206,225件 (565回/日)	214,851件 (589回/日)	4%減
人数	50,007件 (137人/日)	53,288件 (146人/日)	6.2%減

⑩『山寺芭蕉記念館だより』の作成〔年1回〕

事業の予告や報告、芭蕉及び「奥の細道」に関する情報の提供を行ない、山寺芭蕉記念館の活動の周知に役立てた。

(3) 茶席事業

①市民茶会（通年）

抹茶または煎茶の呈茶を行い、茶道作法など、茶道文化の啓蒙普及をはかるための事業を行った。

○実施状況

実施月	日数	利用者数（人）
4月	0	0
5月	1	78
6月	1	25
7月	1	63
8月	0	0
9月	0	0
10月	2	127
11月	0	0
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
合計	5	293 (—)
前年度	0	0

() 内は前年度同期比 (%)

②茶房 芭蕉堂（通年、但し市民茶会開催日を除く）

抹茶の呈茶を常時行い、茶道文化に親しむ一助とした。
主に本館談話室で開催した。

○実施状況

実施月	日数	利用者数（人）
4月	27	51
5月	29	76

6月	26	85
7月	27	91
8月	30	124
9月	29	97
10月	26	120
11月	28	125
12月	24	41
1月	24	20
2月	24	62
3月	31	96
合計	325	988 (104.1%増)
前年度	327	484

()内は前年度同期比(%)

③山寺感謝の茶会

山寺地区民に対し、平素から山寺芭蕉記念館の事業に理解と協力を頂いていることへの感謝の意を表して呈茶を行い、茶の湯に親しむ機会とした。

○日 時 11月23日(水祝)

○参加者数 33名(前年度中止)

(4) 収蔵品の貸し出し

貸し出しなし

(5) 収蔵品の掲載許可

①(株)山形テレビ

○掲載資料 芭蕉肖像 月僊 筆

○期 日 等 令和4年5月18日

○内 容 スーパーJチャンネル YTS ゴジダス内で酒田まつり 2022 中継の際に使用。

②大手前大学 辻村尚子氏

○資 料 越智越人一門歳暮句・越人詩懐紙 越人他 筆
重巽宛其角書簡 宝井其角 筆

○内 容 調査研究のための撮影。

③(株)内田洋行教育総合研究所

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和5年1月6日～
- 内 容 デジタル教科書の実用説の検証、授業での活用。

④日本文教出版(株)

- 掲載資料 「紅花屏風」青山永耕 筆
- 期 日 等 令和7年4月予定
- 内 容 文部科学省検定教科書の挿絵として使用。

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和4年度 山寺芭蕉記念館運営懇談会

- 日 時 令和4年10月12日(水) 午後2時
- 場 所 山寺芭蕉記念館 会議室
- 内 容 ①報告 ・令和3年度事業報告
・令和4年度事業経過報告
②懇談 ・令和5年度事業及び運営について
・その他

(2)令和4年度 山寺芭蕉記念館資料整備検討委員会

開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1) 山寺・蔵王ウルトラマラソン会場となる

4月24日(日)、第3回山寺・蔵王ウルトラマラソン会場(スタート・ゴール地点)となった。100kmマラソンに111名、50kmマラソンに84名が参加。

(2) 『山形新聞』「のぞいてみて妖怪の世界」記事の中で紹介される

8月16日発行『山形新聞』の記事「のぞいてみて妖怪の世界 山形・山寺芭蕉記念館で企画展」の中で、企画展「今昔 妖怪・もののけ展」とその展示作品4点が紹介された。

(3) 第35回ブラスアンサンブルフェスティバル in 山形・山寺の開催会場となる

9月3、4日に日本アマチュアブラスアンサンブル組織が主催して開催された第35回ブラスアンサンブルフェスティバル in 山形・山寺を後援し、また開催会場となった。合計来場者数140人。

(4) 『讀賣新聞』「とうほく名作散歩」記事の中で紹介される

10月1日発行『讀賣新聞』地域版の記事「とうほく名作散歩：紀行 おくのほそ道 山形市」中の芭蕉の句の説明に関連して山寺芭蕉記念館が紹介された。

(5) 「東北文化の日」に参加

「東北文化の日」推進委員会（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、仙台市）主催の「東北文化の日」に参加した。「東北文化の日」（令和4年度は10月29日、30日）を含む博物館関連施設イベントの情報を一体となって発信するもので、参加内容は特別展「江戸絵画の美」開催期間中の11月3日の文化の日無料開放日。

(6) 山寺スタンプラリーのスタンプ設置

東日本旅客鉄道株式会社山形統括センター常務業務ユニットサービス推進委員会の主催事業で、山寺周辺地域の活性化とPRのため、11月3日に行なった山寺スタンプラリーのスタンプ設置に協力した。

4. 施設利用状況について

(1) 臨時開館・臨時休館・時間延長について

期 日	区 分	説 明
4月4日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月11日(月)		
4月12日(火)	臨時休館	展示替えのため
4月13日(水)		
4月14日(木)		
4月18日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
4月25日(月)		
5月2日(月)		
5月9日(月)		
5月16日(月)		
5月23日(月)		
5月30日(月)		
5月31日(火)	臨時休館	展示替えのため
6月1日(水)		
6月2日(木)		
6月6日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月8日(水)	臨時休館	消防設備点検のため

6月13日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
6月20日(月)		
6月27日(月)		
7月4日(月)		
7月11日(月)		
7月19日(火)		
7月20日(水)	臨時休館	展示替えのため
7月21日(木)		
7月22日(金)		
7月25日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
8月1日(月)		
8月8日(月)		
8月15日(月)		
8月22日(月)		
8月29日(月)		
9月5日(月)		
9月12日(月)		
9月20日(火)		
9月26日(月)		
10月3日(月)		
10月4日(火)	臨時休館	展示替えのため
10月5日(水)		
10月6日(木)		
10月11日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
10月17日(月)		
10月24日(月)		
10月31日(月)		
11月7日(月)		
11月14日(月)		
11月21日(月)		
11月24日(木)	臨時休館	展示替えのため
11月25日(金)		
11月28日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月5日(月)		
12月7日(水)	臨時休館	消防設備点検
12月12日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月14日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため

12月19日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月21日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
12月26日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
12月28日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月4日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月10日(火)	臨時開館	来館者サービスのため
1月11日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月16日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月18日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月23日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
1月25日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
1月30日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月1日(水)	臨時休館	繁忙期と閑散期の調整のため
2月6日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月7日(火)	臨時休館	展示替えのため
2月8日(水)		
2月9日(木)		
2月13日(月)	臨時開館	来館者サービスのため
2月20日(月)		
2月27日(月)		
3月6日(月)		
3月13日(月)		
3月20日(月)		
3月27日(月)		

(2) 無料開放について

○市制施行記念無料開放:7月3日(日) 130名(前年度実施せず)

(内訳:大人117名、小中学生13名)

○文化の日無料開放:11月3日(木)祝 464名(前年度635名)

(内訳:大人456名、小中学生8名)

最上義光歴史館

1. 事業計画による主催事業について

(1) 展示事業

① 常設展／特設展示第一部「山形城ゆかりの絵画 ～居室を彩った大画面～」

山形城ゆかりの絵画資料はほとんど散逸してしまったが、本展示では、奇跡的に現存する山形城ゆかりの貴重な絵画資料のうち大画面の障屏画(屏風・板戸・襖)を展示紹介した。

1. 山形城の襖絵「松図」
2. 四季花鳥図屏風 狩野玄也筆 (山形県指定有形文化財)
3. 山形城御殿の杉板戸「鶴図／松図」「団扇散らし図」

○期 間 4月1日(金)から7月3日(日) (延日数81日間)

○入館者数 5,414名 (1日平均約67名)

② 常設展／特設展示第二部「鐵 [kurogane] の美2022 ～郷土刀 — 新々刀の名工と現代の匠～」

新々刀の名工のうち本県ゆかりの水心子正秀と大慶直胤、藤原清人、池田一秀、そして現代の匠・上林恒平氏と弟子の高橋恒厳氏の作品を展示公開した。

武士の魂といわれる日本刀のすばらしさを鑑賞する機会とし、郷土の刀工の作品を紹介することによって愛郷心を育む一助とした。(展示総数10振)

○期 間 7月6日(水)から10月10日(月/祝) (延日数85日間)

○入館者数 6,404名 (1日平均約75名)

③ 常設展／特設展示第三部「最上家ゆかりの古文書 ～山形市指定有形文化財指定記念～」

令和3年に新たに山形市の文化財に指定された当館所蔵の最上家ゆかりの古文書(手紙)3件4通や、すでに文化財に指定されている古文書9通、このたび新たに発見された貴重な「最上義光宛行状」を展示公開した。

最上義光の貴重な文書から花押や印章を紹介するとともに、最上家ゆかりの人々の文書の流麗な筆跡等を鑑賞する機会とした。

収蔵資料15点、個人所蔵2点 (うち山形市指定有形文化財13点)

○期 間 10月19日(水)から1月9日(月/祝) (延日数67日間)

○入館者数 4,673名 (1日平均約70名)

④ 常設展／特設展示第四部「出土した陶磁器」

公益財団法人山形県埋蔵文化財センターが行っている山形県内の城郭や集落遺跡の発掘事業によって出土した陶磁器を中心に展示公開し、中世山形における流通と消費の状況や生活様相を紹介するとともに、近世の発掘状況と成果の一端を紹介した。(展示総数245点)

○期 間 1月12日(水)から3月31日(金) (延日数68日間)

○入館者数 3,038名 (1日平均約45名)

(2) 普及啓発事業

①『最上義光』夏休み研修会

当館主催事業の「こども講座」をより効果的に行うため、教員対象の研修会を実施し、教員の最上義光に対する理解を深め、「こども講座」の活動について知ってもらい、活用の仕方を検討してもらうため実施した。

- ・会 場 最上義光歴史館
- ・講 師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」
- ・参加費 無料
- ・対象及び日時、参加者数

小学校社会科部会	8月3日(水)	9時から12時まで	28名
小学校教諭	8月4日(木)	9時から12時まで	1名

②『最上義光』研修会

当館主催事業の「こども講座」をより効果的に行うため、教員対象の研修会を実施し、教員の最上義光に対する理解を深め、「こども講座」の活動について知ってもらい、活用の仕方を検討してもらうため実施した。

- ・会 場 山形城跡(最上義光公騎馬像、山形城櫓門、発掘現場など)
- ・日 時 9月14日(水) 15時から16時まで
- ・講 師 山形市企画調整部文化振興課課長補佐 齋藤仁氏
最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」
- ・参加費 無料
- ・対象及び参加者数 山形市小学校社会科部会 26名

③歴史講座

こども講座「ヨシアキ☆すく〜る!？」

山形市内の小学校に出向き、最上義光を中心に郷土の歴史や文化を学ぶ機会をつくり、郷土史に対する関心と理解を深め、愛郷心の育成を図った。

令和3年度実施校 11校 : 参加生徒数 748名 : 講師 延31名

令和4年度実施校 14校 : 参加生徒数 955名 : 講師 延38名

○日時、実施校、学年、参加生徒数、講師数の順で記載

- ・ 9月22日(木) 8時50分から11時35分まで
学 校 山形市立鈴川小学校 四年生
受講人数 97名
講 師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」 4名
- ・ 9月28日(水) 10時55分から12時25分まで
学 校 山形市立金井小学校 四年生

- 受講人数 134名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」3名
 ・ 9月29日(木) 14時30分から15時40分まで
 学校 山形市立西山形小学校 四年生
 受講人数 15名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」2名
 ・ 10月4日(火) 13時55分から15時 まで
 学校 山形市立東小学校 四年生
 受講人数 50名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」3名
 ・ 10月21日(金) 10時55分から12時 まで
 学校 山形市立第六小学校 四年生
 受講人数 67名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」2名
 ・ 11月10日(木) 10時30分から12時 5分まで
 学校 山形市立第三小学校 四年生
 受講人数 60名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」3名
 ・ 11月16日(水) 8時55分から 9時40分まで
 学校 山形市立南沼原小学校 四年生
 受講人数 141名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」3名
 ・ 11月18日(金) 10時55分から11時30分まで
 学校 山形市立楯山小学校 四年生
 受講人数 26名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」2名
 ・ 11月22日(火) 14時40分から15時25分まで
 学校 山形市立本沢小学校 四年生
 受講人数 11名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」2名
 ・ 11月25日(金) 8時50分から 9時35分まで
 学校 山形市立第二小学校 四年生
 受講人数 65名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」3名
 ・ 12月8日(木) 10時55分から11時40分まで
 学校 山形市立第五小学校 四年生
 受講人数 35名
 講師 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」3名
 ・ 12月9日(金) 10時55分から12時20分まで

- | | |
|-------------|------------------------|
| 学 校 | 山形市立西小学校 四年生 |
| 受講人数 | 74名 |
| 講 師 | 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」3名 |
| ・ 12月20日(火) | 9時45分から12時30分まで |
| 学 校 | 山形市立第七小学校 四年生 |
| 受講人数 | 77名 |
| 講 師 | 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」3名 |
| ・ 1月31日(火) | 9時30分から12時 まで |
| 学 校 | 山形市立滝山小学校 四年生 |
| 受講人数 | 103名 |
| 講 師 | 最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」2名 |

④ボランティアに係わる事業

「義光塾」

最上義光や郷土の歴史について多角的に学習して、来館者に対して幅広い知識で接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

(回数4回：参加者総数23名)

○日時、会場、内容、受講者数、講師の順で記載

- ・ 10月23日(日) 10時から12時まで
最上義光歴史館 研修室
「中世立石寺と最上氏」 22名
齋藤仁先生(山形市企画調整部文化振興課課長補佐)
 - ・ 10月31日(月) 9時から11時まで
山寺立石寺
「山寺立石寺と最上氏について」 17名
現地研修講師：齋藤耕一先生 (奥の細道マイスターの会会員/義光会会員) 講演講師：清原正田先生 (立石寺住職)
 - ・ 11月13日(日) 10時から12時まで
最上義光歴史館 研修室
「新史料・最上義光宛行状について」 18名
鈴木勲先生(西村山地域史研究会会長)
 - ・ 3月18日(土) 13時30分から15時30分まで
中央公民館 大会議室
「最上時代の山形城と石垣」 57名
最上義光歴史館サポータークラブ「義光会」20名

山形霞城郷土史研究会	21名
長谷堂合戦ボランティアガイドの会	12名
関係者	4名
- 北野博司先生(東北芸術工科大学教授)

「現地研修会」

最上家や郷土の歴史に関する史跡等を現地研修し、現地に赴くことによってボランティアが郷土史と文化財に対する知識と理解を深め、来館者に対してより質の高い接遇が可能となるようにスキルアップを図った。

○日 時 9月26日(月)

○内 容 令和4年は酒井家庄内入部400年の記念すべき年であるため、庄内藩と藩祖酒井忠勝公そして庄内松山藩酒井家について学習した。

○研修先

①尾浦城跡(大宝寺氏、下氏等の居城)

②十五里ヶ原古戦場跡(本庄重長と最上義光が激突した古戦場)

③致道博物館(酒井家庄内入部400年記念特別展「藩祖・酒井忠勝」見学)

④總光寺(庄内松山の古刹)

⑤中山神社(庄内松山藩酒井家ゆかりの神社)

⑥松山城大手門(庄内松山藩酒井家の居城)

○参加者 27名

(3) 調査研究事業

①最上家関係資料・史跡調査〔継続事業〕

県内外に残る最上家等に関わる文書資料や文化財・史跡などの調査研究を進め、写真撮影等による記録保存及び目録作成、複写等の資料整備を行う。

○ 7月27日(木) 最上家旧家臣 下次右衛門吉忠(大山城主)の子孫の依頼によりゆかりの刀剣類(刀1点、脇指1点、大身槍1点)の調査を行った。

(4) その他の事業

①ICTに係わる企画と情報管理

インターネットを媒体として、ホームページを活用して様々な情報を発信するとともに、企画から物販まで幅広く展開した。

・一般ページのアクセス件数

<4月から3月までの延365日間のアクセス件数>

	令和4年度	令和3年度	前年度比
回数	1,136,851回(3,115回/日)	794,059回(2,176回/日)	43.2%増
人数	134,822人(369人/日)	110,878人(304人/日)	21.6%増

・こどもページのアクセス件数

< 4月から3月までの延365日間のアクセス件数 >

	令和4年度	令和3年度	前年度比
回数	24,573回 (67回/日)	32,244回 (88回/日)	23.8%減
人数	6,306人 (17人/日)	6,646人 (18人/日)	5.1%減

・スマートフォンサイトのアクセス件数

< 4月から3月までの延365日間のアクセス件数 >

	令和4年度	令和3年度	前年度比
回数	170,962回 (468回/日)	106,947回 (293回/日)	59.9%増
人数	47,030人 (129人/日)	29,749人 (82人/日)	58.1%増

②文化庁博物館支援事業 令和4年度文化芸術振興費補助金 Innovate MUSEUM 事業へ参加

- ・事業名 地域の記憶「共創」アーカイブ事業
- ・事業者 山形アーカイブ実行委員会会長 大友幸子（山形大学附属博物館館長/山形大学教授） ※國井康彦当館館長は副会長
- ・事業目的 山形市中心市街地に係る資料と風景とオーラルヒストリーや地域の博物館が収集してきた資料などをデジタル化して共有する仕組み(デジタルアーカイブ)をつくる。成果品は中心市街地の活性化や文化観光の推進、国際交流、次世代教育への活用、文化遺産の防災等に利活用する。
- ・事業内容(当館)
 - 当館収蔵資料のデジタルアーカイブ化、特に最上家や郷土史に係る資料の撮影及び台帳整備を行う。
 - 本年度は、最上義光所持の鉄製指揮棒と最上家及び郷土にゆかりの刀剣類の写真撮影と専用ホームページへの掲載を行った。

③収蔵資料の貸出

○「大坂夏の陣図」 一面

- ・期間 令和4年9月10日(土)から同年10月31日(月)まで
- ・貸出先 致道博物館(鶴岡市家中新町10-18)
- ・内容 公益財団法人致道博物館主催の酒井家庄内入部400年記念特別展第四部「藩祖酒井忠勝」の展示資料として

④収蔵資料の撮影及び利用等

- 長谷堂合戦図屏風(複製) 六曲一双、左隻 直江兼続部分
 - ・目的 BS11「偉人・素顔の履歴書 越後の上杉家を支え続けた不屈のナンバー2・直江兼続編」(7月23日20時放送)で映像使用
 - ・申請者 合同会社カラボック

- 『山形県史談』所載「最上義光像」
 - ・目的 BS-TBSプレミアム「にっぽん!歴史鑑定 伊達政宗 毒殺未遂事件の真相」(7月25日22時放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社ネクサス

- 最上義光所用「三十八間総覆輪筋兜」等
 - ・目的 BS松竹東急「号外!スクープ砲 家康に天下を取らせた男最上義光」(7月31日21時放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社テレビジョンフィールド

- 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻
 - ・目的 テレビュー山形「ローカル魂 原田龍二の山形はらだくさい話」(8月31日19時放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社プライド・トゥ

- 長谷堂合戦図屏風(複製) 六曲一双
 - ・目的 BS11「偉人・素顔の履歴書 天下一のかぶき者・前田慶次編」(9月3日20時放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社タイクーン

- 「伊達政宗書状 (天正十三年)閏八月二十七日 山形宛」 一通
 - ・目的 BS松竹東急「号外!スクープ砲 伊達政宗の強さとは一体何だったのか?」(10月9日21時放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社テレビジョンフィールド

- 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻
 - ・目的 テレビ東京系列「開運!なんでも鑑定団」(令和4年11月22日20時54分放送)で映像使用
 - ・申請者 株式会社ネクサス

- 最上義光所用「三十八間総覆輪筋兜」 一頭
 - ・目的 NHK総合 歴史探偵「北の関ヶ原 直江兼続VS.伊達政宗」(1月18日(水)22時放送)で映像使用

・申請者 日本放送協会 大阪放送局

○最上義光所用「三十八間総覆輪筋兜」 一頭

・目的 NHK BSプレミアム「決戦！関ヶ原Ⅱ 大名たちの野望」
(2月4日21時放送)で映像使用

・申請者 日本放送協会 大阪放送局

○特設展示第二部「鐵[kurōgane]の美2022」展示資料の上林恒平
刀匠と高橋恒巖刀工の作品

・目的 令和4年度山形市創造都市推進事業「映像で山形ルネッサンス」
短編ドキュメンタリー映画「鍛 一刀工 上林恒平の道」
に使用

・撮影者 TRYANGLE代表 長岡宏昭

・申請者 山形市企画調整部文化振興課山形フィルム・コミッション事務局

○刀 銘 水心子正秀／寛政三年八月日 一振

拵 黒蠟色立鼓柄打刀拵 一腰

拵 黒蠟色海老鞘巻打刀拵 一腰

・目的 山形市が国の補助事業で制作する山形打ち刃物(剪定鋏)の歴史と技術を紹介する映像で使用

・撮影者 株式会社山形放送、株式会社テレモアドットコム

・申請者 山形市商工観光部山形ブランド推進課

○長谷堂合戦図屏風(複製) 右隻、右隻 鮭延典膳頭健綱・片野對馬守部分

・目的 NHK WORLD JAPANの「Core Kyoto 大鎧」(28分・英語放送)で御所文化の精華「大鎧」づくりに携わる人々の活躍を紹介する番組で使用

・放送日 3月16日 9時30分～、14時30分～、19時30分～
3月18日 0時30分～、6時30分～

・申請者 株式会社放送映画製作所

⑤印刷物等への利用

○『酒井家庄内入部400年記念小冊子「最上家統治時代庄内」』(令和4年度発行)に掲載

・掲載資料 最上義光所用「三十八間総覆輪筋兜」

・申請者 鶴岡市教育委員会

○雑誌『刀剣ファンvol.1 1「大江戸刀剣地図－江戸の刀工たち」』(令和4年

6月28日発行)に掲載

- ・掲載資料 刀 銘 水心子正秀／寛政三年八月日 一振
- ・申請者 株式会社天夢人

○『読むクリアファイル「関ヶ原合戦対立構造図」』(令和4年8月1日発行)に掲載『2023年版戦国武将大全カレンダー』(令和4年9月1日発行)

- ・掲載資料 長谷堂合戦図屏風(複製)
- ・申請者 株式会社コミュニティネット

○『知識ゼロからの日本刀』(令和4年6月発行)に掲載

- ・掲載資料 刀 銘 水心子正秀／寛政三年八月日 一振
- ・申請者 株式会社天夢人

○月刊誌『歴史人』10月号(9月6日発売)に掲載

- ・掲載資料 ①『山形県史談』所載「最上義光像」
②長谷堂合戦図屏風(複製) 右隻
- ・申請者 株式会社ABCアーク

○『城の地図』監修・執筆小和田哲男(令和5年6月発行)に掲載

- ・掲載資料 長谷堂合戦図屏風(複製)
- ・申請者 株式会社エレフログ

○『戦国LoveWalker』(令和4年12月23日発売)に掲載

- ・掲載資料 長谷堂合戦図屏風(複製)、歴史館外観
- ・申請者 シュープレス株式会社

○『戦国武将列伝 東北編』編者:遠藤ゆり子・竹井秀文(令和5年1月発行)に掲載

- ・掲載資料 最上義光所用「三十八間総覆輪筋兜」
- ・申請者 戎光祥株式会社

○『幕末諸藩300藩』(令和5年5月頃発売予定)に掲載

- ・掲載資料 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻部分
- ・申請者 株式会社エディ・ワン

○『歴史人』3月号「戦国レジェンド」歴史に名を刻む『軍師』ランキング(令和5年2月6日発行)に掲載

- ・掲載資料 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻
- ・申請者 株式会社ABCアーク

○JR東日本「大人の休日倶楽部」会員誌5月号 特集「江戸開府と伊達政宗」
(令和5年4月25日)に掲載

- ・掲載資料 長谷堂合戦図屏風(複製) 左隻、同左隻四扇・五扇部分
- ・申請者 株式会社レマン

⑥イベント等協力

○「ニッカリ青江が斬った石灯籠」の設置等イベント協力

- ・期 日 9月21日(木)、22日(金)、23日(土)
- ・内 容 山形市民会館で22日(木)に開催されたミュージカル『刀剣乱舞』の「にっかり青江単騎出陣」の公演にあわせて、主人公のキャラクターに関わる物(石灯籠)を設置してイベントを盛り上げ、刀剣乱舞ゆかりのグッズや花笠等の山形土産特設販売(歴史館で準備)し、主催者へ更衣室・休憩スペース等を提供した。
- ・主 催 者 ニッカリ青江友の会東北支部

○やまがた愛の武将隊 演武へ協力

- ・期 日 11月27日(日) 13時から14時
- ・場 所 最上義光歴史館前公園(旧中央公園)
- ・内 容 やまがた愛の武将隊の自主企画
直江兼続、最上義光、志村光安による演舞と最上義光歴史館館内賑やかし

○やまがた愛の武将隊 賑やかし

- ・実 施 日 2月25日(土) 13時から14時
3月11日(土) 10時30分から12時
3月19日(日) 10時から12時
- ・場 所 最上義光歴史館館内
- ・内 容 やまがた愛の武将隊の自主企画(無償)
最上義光、志村光安、直江兼続らによる最上義光歴史館館内賑やかし

2. 運営懇談会、資料整備検討委員会に関する事項について

(1)令和4年度 最上義光歴史館運営懇談会
開催なし

(2)令和4年度 最上義光歴史館資料整備検討委員会
開催なし

3. 特筆すべき事項について

(1) 義光会、最上義光武将隊等イベント参加

- ・10月2日 第9回山形まるごとマラソン 沿道（山形城二の丸北門）から応援。
- ・10月8日 街なか賑わいフェスティバル2022 イベント補助と最上義光の啓発活動

(2) 広告掲載

①『そばマップ2022版 vol.24』へ広告掲載

配布枚数 23,000枚

配布場所 掲載そば店27店舗、山形市周辺観光関係施設、山形市周辺宿泊施設他

②『フリーペーパー道の駅 東北版 VOL.36』へ広告掲載

配布部数 80,000枚

配布場所 東北地方の道の駅 約170か所

4. 施設利用状況について

(1) 臨時開館・臨時休館・開館時間延長

期 日	区 分	説 明
7月5日(火)	臨時休館	展示替え作業のため
8月5日(金)	開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月6日(土)	開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月7日(日)	開館時間延長(18時まで)	花笠祭りのため
8月15日(月)	臨時開館	お盆期間のサービス拡大のため
10月12日(水) 13日(木) 14日(金) 15日(土) 16日(日) 18日(火)	臨時休館	展示替え作業及び館内燻蒸業を行うため
1月11日(水)	臨時休館	展示替え作業のため

公益財団法人山形市文化振興事業団

1. 理事会・評議員会について

(1) 第1回理事会

- 日 時 令和4年5月27日(金) 午前11時
場 所 山形グランドホテル アルプス
議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和3年度事業報告
及び決算の承認について (原案どおり承認可決)
第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団山寺芭蕉記念館運営
懇談会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)
第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団最上義光歴史館運営
懇談会委員の委嘱について (原案どおり承認可決)

(2) 定時評議員会

- 日 時 令和4年6月14日(火) 午前11時
場 所 山形グランドホテル アルプス
議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和3年度事業報告
及び決算の承認について (原案どおり承認可決)
第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団評議員の選任について
(原案どおり承認可決)
第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団役員を選任について
(原案どおり承認可決)

(3) 第2回理事会(定款第37条の規定による書面決議)

- 日 時 令和4年12月27日(決議のあったとみなされた日)
議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和4年度正味財産増
減補正予算について
(理事全員から同意があり、監事全員から異議がなく、原案通り承認された)

(4) 第3回理事会

- 日 時 令和5年3月27日(月) 午前11時
場 所 山形グランドホテル アドリア
議 事 第1号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和5年度事業計画及
び正味財産増減予算について (原案どおり承認可決)
第2号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団令和5年度定時評議員

- 会の開催について (開催の日時、場所、目的を決定)
- 第3号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団事務局次長の任命の承認について (原案どおり承認可決)
- 第4号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団会計規程の一部改正について (原案どおり承認可決)
- 第5号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団文書取扱規程の一部改正について (原案どおり承認可決)
- 第6号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団寄託品取扱規程の一部改正について (原案どおり承認可決)
- 第7号議案 公益財団法人山形市文化振興事業団に係る個人情報の保護に関する法律の施行規程の制定について (原案どおり承認可決)

2. 監査に関する事項について

(1) 令和3年度事前監査

日 時 令和4年5月12日(木) 午前9時30分
場 所 山寺芭蕉記念館 会議室

(2) 令和3年度監査

日 時 令和4年5月17日(火) 午後3時
場 所 最上義光歴史館 会議室